

工高祭キャッチフレーズ

**ガシガシ青春掴み取れ！
シャバイ夏から抜け出そう！
島君(土2)が提案**

キャッチフレーズを考えた島君(土2)



第49回工高祭のキャッチフレーズが島鼓汰郎君(土2)の考えた「ガシガシ青春掴み取れ！シャバイ夏から抜け出そう！」に決定した。

応募期間は5月10～15日の5日間、計32のキャッチフレーズが集まった。全校生徒にグループフォームでの投票を呼びかけ、全日制が216人、定時制が75人の計291人が投票した。1位は「ガシガシ青春掴み取れ！シャバイ夏から抜け出そう！」で37票、2位は「BeReal(青春(リアル)を写し出せ)」で31票、3位は「激アツな旭工ペカらせ オレらの夏にしよう！」で21票だった。

島君はキャッチフレーズについて「必死に青春をつかみ、平凡な夏から抜け出そうという意味に面白さや親しみやすさを込めた」という。また「キャッチフレーズは友達と談笑している最中に思いついた。2年生になると模擬店が出せる。模擬店は初めてなのでとても楽しみ」と語り「自分だけ楽しむのではなく、学校全体で協力して一般の方々も含め、全員で楽しめる工高祭にしたい」と話した。

入賞した安孫子君(写真提供：細田一輝先生)



電気科2年生の安孫子君は5月22～23日に釧路工業高校で行われた第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会の電気工事部門に出場して3位となり優良賞を受賞した。その結果、9月7日に札幌高等技術専門学院で行なわれる第4回電気工事技能競技北海道大会一般の部と11月28日に横浜アリーナで行なわれる第5回電気工事技能競技全国大会高校生の部の2つの大会の出

ものづくり コンテスト

電気科

電気工事部門

安孫子君 優良賞を受賞

「練習の成果を発揮できた」

場権を得た。

安孫子君は「練習の成果を発揮し、3位に入賞できていると嬉しい。本番では作品を綺麗に仕上げ、時間内に終わらせるように意識した。」

工業化学科

化学分析部門

正確な滴定をする

作業時間の短縮を

24回高校生ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会の化学分析部門は6月21日に旭工で行なわれ、工業化学科3年生の上出惇弘君と

佐々木智宏君、宮腰知希君の3人が出場する。競技は2時間40分以内に3種類の硬度が異なる水を試料とし、全硬度を求めてカルシウム硬度を測定



キレート滴定をする宮腰君

し、その結果からマグネシウム硬度を求める。練習は週4日で一、二時間行っている。上出君は「実験に必要な工程を忘れてしまうので、実験前にだいたい流れを把握して理論付けをしている。一つひとつの作業を丁寧にやるように意識している。本番は最



ピペットで試料を採取する上出君

初で最後の大会なので、悔いなく練習の成果を発揮したい」と意欲的だ。



試料を三角フラスコに移す佐々木君

宮腰君は「器具の洗浄をさらに速くできるように頑張る。滴定に時間がかかるため短縮できるように意識する。本番では緊張せず心に余裕を持って取り組みたい」と述べた。



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
佐々木 晃成
(電気科3年)

★旭工 ライフ

**気軽に図書館へ
図書局局長
山本陽翔君(土3)**



好きな食べ物はいちご

図書局は5月7～10日に「春のボードゲーム(ポドゲ)体験会」を3階図書館で開催した。「ブロックス」や「六華」など4種類のボードゲームを用意した。1日に平均14～15人が来館し楽しんだ。局長になったのは去年の3月からで、現在局員は13人。放課後は17時

まで活動している。主な活動内容は本の管理をする図書館整備とボードゲームイベントの実施。図書局の目標の一つである来館者数を増やすために体験会を企画した。これを機に気軽に図書館に足を運んでくれたらうれしい。局長になってから対面式で局の紹介をしたり、図書局に勧誘したりと苦労もあるが、局員同士でボードゲームをして楽しく活動している。

秋のボードゲーム体験会も実施する予定なので、ぜひ多くの人に体験しに来てほしい。



私は温泉が好きでよく市内や近郊の温泉に友達と自転車で行っている。高砂温泉や天然温泉かぐらの湯、森のゆ花神楽など様々な温泉を巡っている。自転車で行って汗をかいてから温泉に入るのとはとても気持ちがいい▼中でも一番良いのは高砂温泉だ。私は露天風呂が好きなので様々な種類がある高砂温泉が気に入っている。特に気に入っているのが「寝湯」だ。空を見上げながら入浴するのはとても気持ちがいい▼風呂上がりに卓球をするのが私の趣味だ。他の温泉では料金がかかる場合がほとんどだが、高砂温泉は無料で卓球ラケットを貸してくれる。その点も気に入っている理由の一つだ▼温泉にハマったのは高校に入学して2か月がたった頃だ。中学生のときに温泉好きな母とよく行っていたのだが、そのときは一人で黙々と色々な種類の温泉に入っていた。ある日、母に「友達と一緒に温泉に行ってみてはどうか」と提案され、休日に友達と温泉に行ってみた▼友達と温泉に入ると趣味の話や学校の話などができ、楽しくて退屈しなかった。友達とする入浴後の卓球もとても楽しかった。まったりと入浴した後、友達と卓球で遊べるのはうれしかった▼どちらにも良いところがあるが、私は友達と行くほうが好きだ。母と行くのと比べると、友達と話しながらの入浴は時間を忘れることができる。これからも友達といろんな温泉を巡りたい。

(化2高橋)

高体連旭川支部予選が5月13日～6月2日に行なわれた。今号と次号で支部大会で全道大会出場を決めた運動部と高文連全道大会に出場する放送局について、支部大会の感想と全道大会へ向けての取り組みと意気込みを紹介する。

38回連続全道 ディフェンスを見極める

バスケット部

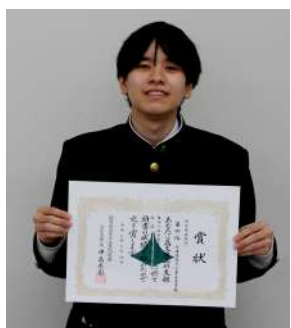
ベスト5賞の鹿原挑夢君(化3)



バスケットボール部は5月22～24日に旭川市総合体育館で行なわれた全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会旭川支部予選会で3位に入賞し、38回連続で全道大会出場を決めた。鹿原挑夢君(化3)がベスト5賞に選ばれた。全道大会は6月20～23日に小樽市で行なわれる。部長の鹿原君は「3連覇を狙っていたが準優勝でもなく3位だったのが悔しい。心も体もコンディションは良かったが、些細なミスでつまづいて連続で点を取られてしまった。全道では得点を伸ばすために、たくさんシュートを入

放送局 研究発表部門で4位 スピーカーを製作

放送局は5月15～16日に旭川市民文化会館で行なわれた第71回NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会上川地区大会の創作テレビドラマ部門やアナウンス部門など4部門に出場した。研究発表部門で一岡煌君(情3)と佐藤侑



高文連の賞状を持つ一岡君



NHKの賞状を持つ佐藤君

イズや息が入らないようにマイクの距離に注意した。全道大会が最後の大会なので結果だけにとらわれず自分が満足できるように取り組みたい」と話した。佐藤君は「スピーカーを実際に製作し、音がしっかり鳴ってうれしかった。他校の放送局は内容が具体的で分かりやすかった。準備期間は1か月で、練習は2日間しかなかった。パワーポイントに合わせたいタイミングよく話せるように練習した」と語った。



顧問の稲川真人先生は「完成するのに時間がかかってしまったが、他の部門の局員たちが協力して作業を手伝って進めていたのが良かった。作品のパワーポイントの点検が本番直前になってしまったので、全道大会に向けて顧問と局員たちで改善していく。全道では、他校の作品を見て良い点を学んできたい。全道ではチーム一丸になって取り組んでほしい」と語った。

柔道部 個人3人が全道へ 実力を発揮したい



全道大会に出場する稲垣君、澁谷君、竹内君(左から)

柔道部は5月16～17日に東光スポーツ公園武道館で行なわれた第74回北海道高等学校

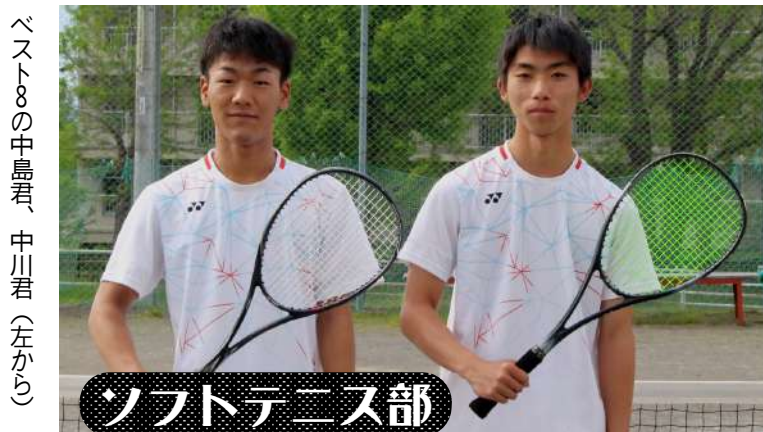
柔道大会旭川支部予選会に出場し、部長の澁谷龍斗君(機3)は73kg級で2位、竹内空君(電2)は66kg級で3位、稲垣椋也君(土2)は81kg級で5位に入賞した。3人は6月19～21日に釧路市で行われる全道大会に出場する。

澁谷部長は「一人ひとりがしっかり戦えて良かった。全道では一戦一戦を大事にし、気合いと根性で優勝したい。自信を持って攻め続ける柔道の練習をしている。全道では攻めの柔道を続け、強い相手にも気持ちで戦うことを意識する」と話した。

陸上部 4種目で全道出場 最後まで走り抜く

陸上部は5月15～17日に花咲陸上競技場で行なわれた第77回高体連旭川支部陸上競技選手権大会に出場した。4×100mリレーが4位、4×400mリレーが6位、800mで遠藤颯汰君(情2)が4位、砲丸投げで沼岡芯喜君(土1)が7位で、34×100mリレーで4位に入賞したメンバー

左から鶴飼知也君(建2)、伊藤奏音君(土3)、工藤颯太君(電3)、鹿間翔太君(化2)



ソフトテニス部

中川・中島ペアベスト8 一本一本を大事に

ソフトテニス部は5月15～17日に花咲テニスコートで行なわれた第77回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会旭川支部予選に出場し、ダブルスで中川心太君(化3)・中島寧大君(土3)ペアがベスト8に入り、6月4～7日に釧路市で行なわれる全道大会への出場を決めた。

中川君は「初戦から接戦が続き、2人で一本一本を大事にプレイし、全道大会出場権を手に入れた。高校最後の大会になると思うので、少しでも勝ち上がれるように頑張る」と話した。

中島君は「初戦からずっと声を出して相手のペースにのまれないよう意識した。全道大会に向けて基礎練習をしっかりとやり、サーブやレシーブなど自分たちが得意なコースに打つ練習を重ね、悔いが残らないように今までの成果を出し切りたい」と語った。

技を磨くこと、相手をしっかりと研究した試合ができることを意識してほしい。自分の実と語った。